

【指導分野】

観光・レクリエーション

わくい しろう

【氏名】 涌井 史郎



【現職】

東京都市大学・環境情報学部教授

中部大学・応用生物学部教授

桐蔭横浜大学・工学系研究科客員教授

東京農業大学客員教授

【略歴】

昭和47年(株)石勝エクステリア代表取締役役に就任。(社)国際観光施設協会副会長、(財)みどりの地球防衛基金副会長、(社)日本造園建設業協会理事など公益法人役員多数を歴任。平成12年より桐蔭横浜大学教授現職。全国各地のリゾート計画の企画に従事し、平成17年愛知万博会場演出総合プロデューサー、その他多くの各検討委員会委員を歴任。TBS「サンデーモーニング」等コメンテーターとしても活躍。日本造園学会賞、国土交通省大臣賞等、黄綬褒章など受賞歴多数。

平成2年9月水源地域対策アドバイザーに就任。

【これまでの派遣先】

平成3年度 佐賀県富士町 (嘉瀬川ダム)

平成4年度 鳥取県国府町 (殿ダム)

平成5年度 高知県本山町 (早明浦ダム)

平成6年度 岩手県軽米町 (世増ダム)

平成7年度 福岡県甘木市、小石原村(小石原川ダム)

平成8年度 高知県大川村 (早明浦ダム)

平成10年度 広島県福富町 (福富ダム)

平成12年度 愛媛県面河町 (面河ダム)

平成14年度 佐賀県東脊振村(五ヶ山ダム)

平成15年度 大分県野津原町(大分川ダム)、愛知県設楽町 (設楽ダム)

平成16年度 群馬県中之条町(四万川ダム)

平成20年度 三重県伊賀市 (川上ダム)

【指導分野】

観光・レクリエーション

わくい しろう

【氏名】 涌井 史郎



【他の役職・就任歴等】

首都高速・大橋ジャンクション環境対応委員会・座長

(社)道路調査会・低炭素時代に対応する新しい道路検討委員会・委員長

川崎市・生田緑地総合計画検討委員会・委員長

国土交通省・農水省・トキとコウノリで活性化する広域連携会議・委員長

国連生物多様性年国内実行委員会会長代行(中央環境審議会臨時委員
平成23年就任予定)

その他国土交通省・環境省関連の委員会委員多数

【自己紹介】

生物多様性保全、或いは国土保全の意味から中山間地域の活性化または居住の継続は国家的な課題である。しかしながら経済的には明らかに条件不利下におかれている現実を見過ごすわけにはいかない。そこで、観光交流を活発にすることにより、地域の内発力を刺激し、地域に対する自立・自尊の精神と共に現実的な経済的効果をもたらす道筋を確立することが急務となる。存外地域の方々には自らに内在する宝、つまり観光交流資源の素晴らしさに気づいておられないことが多い。こうした点に対し、有効な助言をさせていただければ幸いである。